

所長あいさつ

豊田理化学研究所が創立80周年を迎えた一昨年从去年にかけては、想定外の新型コロナウイルスCOVID-19パンデミックに見舞われ、多くのイベントが中止や延期となりました。そんな中、インターネット技術の発展の恩恵で、オンライン会議やオンライン講演会などが数年くらいは先取りで一気に普及、実用化され、いわゆるポストコロナ運営体制が作り上げられたという点で、時代が変わった！ともいえる記録に残る年となりました。



玉尾 皓平 所長

一昨年2020年は、創立80周年の豊田理化学研究所に加えて、豊田中央研究所は創立60周年を、昨年2021年には豊田工業大学が創立40周年、コンボン研究所も創立25周年と、トヨタグループの研究・教育機関にとっては、揃って節目を迎えました。2021年春には、「豊田理化学研究所80年史」を編纂し、豊田理研の来し方行く末を改めて考える機会ともなりました。

これら大きな節目を機に、創設者豊田喜一郎の自前研究にかけける崇高な想いを引き継がれた井口洋夫前所長の取り組みも大切にしつつ、これまで以上に世界に発信する・未来をつくる・活力ある豊田理研、いわば「新生豊田理研」に向けた新たな制度設計に取り組むこととしました。それらを検討するために昨年6月に理事改選と共に新役員体制も発足させました。

新制度設計においても、豊田章一郎理事長の熱い思いである「若手人材育成」「新研究分野創成」の基本理念は堅持し、現行の「フェロー制度」「スカラー制度」「異分野若手交流会」「海外大学院進学支援制度」などをより効果的な制度にすべく検討を進めてきました。新制度設計はほぼ完了し、今年度できるものから順次実施してまいります。

豊田理研がわが国の物質科学研究分野を中心に人材育成と新分野創成の拠点として科学技術の発展に貢献すべく、しっかりと取り組んでいく所存です。引き続きのご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人 豊田理化学研究所
所長 玉尾 皓平